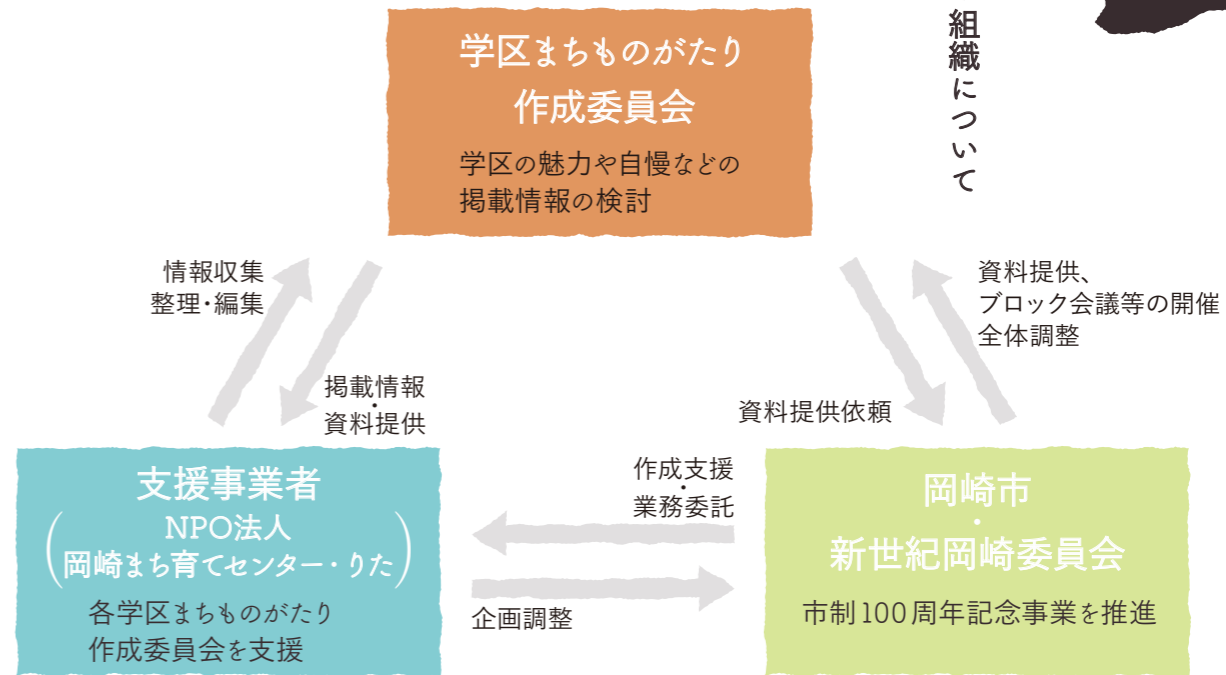


岡崎まちものがたりが できるまで

本事業は、岡崎市制100周年記念事業の主要事業のひとつとして進められてきました。市内全域で積み重ねられてきた歴史や文化、逸話や自然、景観などの「地域の自慢」を、47小学校区ごとの総代会を中心に作成委員会を組成して編纂・編集にあたりました。

地域のみなさまと協働して冊子を作りあげて発行することで、岡崎市各地域の魅力を次世代へ引き継いでいくことを目的とした企画です。

◆組織について



◆岡崎まちものがたり作成のあゆみ

第一期 企画

〔平成27年5月～10月〕

全8ページの誌面(表紙・年表・地図・特集・後記)に、地域の情報をどのように紹介するかという検討を行いました。

岡崎まちものがたり作成推進会議開催(キックオフ)

事業の概要説明と各学区まちものがたり作成委員会組成の依頼を行いました。

6月中旬～7月 ブロック説明会開催

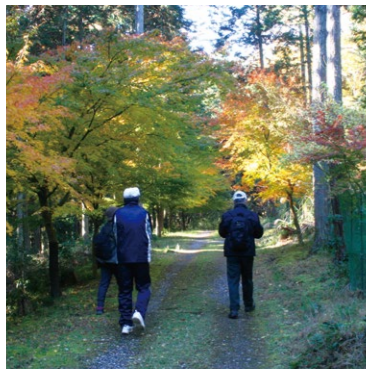
47学区を10ブロックに分け、ブロックごとに作成にあたってのスケジュールや基本構成などの説明を行いました。また作成委員のみなさんが掲載の資源となる情報を出し合い意見交換を行いました。



△ブロック説明会では、これから作成する冊子の内容や構成、スケジュールなどの説明を行いました



▽ブロック説明会の後半では掲載の資源となる学区の情報や地図に貼り付けながら意見交換を行い、地域の魅力を再確認しました(藤川)



▽歌川広重の絵と同じ構図の写真に
するべく河畔のマンションの協力のもと踊り場から撮影に挑戦。全委員
納得のものになりました〔矢作東〕



△地図で登山道を紹介するため現地取材へ。天候にも恵まれ、石仏の写真を撮影したり、山頂に何があるかを確認したりしました〔夏山〕

◆ページ構成について

地域の自慢や魅力を簡潔に表現できるように、写真を多用した読みやすい誌面を目指しました。内容は象徴的な写真等で地域を表現する表紙、過去100年を中心とした地域ごとの歴史を辿った年表、地域情報が一目でわかる地図、特色を前面に出して地域をPRする特集、メッセージ性を含んだ後記の全8ページ。

この構成を基本に、内容や見せ方や切り口については各学区作成委員会の編集方針によって自由に作成しました。



7月 各学区まちものがたり作成委員会 組成・作成開始

作成委員会は月に1～2回の定期開催、進行に応じた随時開催のほか、各ページ担当者による分科会など、学区によってさまざまな形で進めました。

△平成27年9月13日の学区運動会で、表紙用の集合写真のために集まってくれた学区のみなさん。たくさんの方が撮影に協力してくれました(大樹寺)

